

とうきょう すくわくプログラム推進事業

活動報告

テーマ「音」

令和7年3月5日（水）

豊島区立南長崎幼稚園

1 上記テーマを設定した理由

音は生活していく中で身近にあるものである。自然に出る音、作り出す音など様々である。音ということをテーマ子どもたちの気づきを大切にしたい。また、本園は多様な子が在籍している、音は言語を越えてつながることができる素材であるとも考える。音への探求から多様な人とつながり、表現していく楽しさを子どもたちに味わってほしいためである。

2 活動予定内容

様々な音、楽器に触れ、音の存在を意識する。身近な紙、金属、木、自分の身体から出る音に気づく。さらに、出てくる音で、友達と音を合わせる楽しさを知る。出てくるイメージから身体を動かしたり、音が出した素材（例えば、ちぎった紙、つぶしたアルミホイルなど）からも作品を作り出したりなど、音から始まる探求をする。

3 活動スケジュール

日にち	形態、予定の時間など	ねらいと活動	備考
11～12月 ほとんど毎日 月、火、木、金 水	好きな遊び（自由） 9：20～11：00 9：20～10：30	自分からものに働きかけ、音が出る、音を作ることを楽しむ。 身近な音からいろいろなことを気づく。 ・身近なものや道具を取り入れて遊ぶ。 ・気づいたこと、考えたことを言葉を動きに表す。	
11～12月 ほとんど毎日 月、火、木、金 水	帰りの集まり 13：25～13：45 11：20～11：35	学級で歌うことを楽しむ。 自分たちの歌声に耳を傾ける。 ・歌、童歌遊び、リズム遊びなど	
11月 5日（火）	学級指導 11：00～11：30	自分で音を出すことを楽しむ。 自分たちで創り出した音を聞く。 ・楽器遊び	
11月12日（火）	音楽会リハーサル 9：20～10：30	自分たちで演奏することを楽しむ。 友達の演奏に興味をもって聞く。	
11月14日（木）	5歳児「音からアート」 9：20～9：50	紙をちぎったり、丸めたりしたときの音を 楽しみながら、作品を作る。	
11月15日（金）	音楽会（保護者参観） 9：30～10：30	自分たちで演奏を発表し、達成感を味わう。	
11月18日（月）	2クラス合同 練習 SDGs フェスティバル 10：30～11：00	手作り楽器で演じることを楽しむ。 ・SDGs オリジナルソング ・手作り楽器を鳴らす	11月22日 発表済み
11月28日（木） 費用一すくわく	和太鼓演奏鑑賞 （保育園、保護者、 未就園児 参加） 10：00～11：00	和太鼓の音や響きに興味をもつ。 振動などを感じる。 ・和太鼓演奏鑑賞 ・自分たちも和太鼓を叩いてみる。	本園14名 保育園2 園—37名 保護者 —3名 計54名
11月29日（金） 費用一すくわく	観劇（保育園、保護者 未就園児 参加） 劇団風の子「ソノヒカ ギリ美術館」 10：30～11：30	動きと音に気づく。 ・演劇鑑賞	本園14名 保育園2 園—60名 保護者 5名 計79名
12月 ほとんど毎日 月、火、木、金 水	好きな遊び 学級指導 2月1日の子ども会（生 活発表会に向け活動を 含む。時間は未定	自分のしたい遊びや学級で取り上げた話 などとともに、音の世界を楽しむ。 ・音に気づく。 ・ストーリーに合わせた音を考える。	
12月11日（水） 楽器購入費 一すくわく	降園前の活動 4歳児 わらべうた 5歳児 楽器遊び	4歳児）友達の声の違いに気づいたり友達 とのつながりを感じたりする。 5歳児）新しい楽器や素材に触れ、自分な りに音を出すことを楽しむ。	

日にち	形態、予定の時間など	ねらいと活動	備考
1月9日(木) 費用一すくわく	和太鼓演奏鑑賞 及びワークショップ (保育園 参加) 10:00～11:00	和太鼓の音や響きに興味をもつ。 振動などを感じる。 ・和太鼓演奏鑑賞 ・自分たちも和太鼓や他の楽器や素材を を鳴らしてみ、いろいろなことに気づく。	
1～2月 ほとんど毎日 月、火、木、金 水	好きな遊び 学級指導 2月1日の子ども会(生 活発表会に向け活動 を含む。時間は未定	自分のしたい遊びや学級で取り上げた話 などとともに、音の世界を楽しむ。 ・音に気づく。 ・ストーリーに合わせた音を考える。 ・劇遊びの中で、音を取り入れる表現する ことを楽しむ。	
2月14日(金)	あそびうたステージ (保育園、保護者、 未就園児 参加) 10:30～11:30	みんなで歌って遊ぼう ・アーティストによるコンサート (あきらちゃんとジャンプくん)	

4 周知文書

- (1) 園だより 11月号 12月号 1月号 2月号
- (2) 展覧会みどころ さくら組「音からアート」の欄に作品紹介
- (3) 保育園及び未就園児親子へのお誘い

一緒に楽しみましょう！

南長崎幼稚園が劇場になります。どうぞ、いらしてください。

対象：保育園児及び未就園児の保護者

11月28日(木)10:00～11:00(開場9:45)

和太鼓心動隊「動志」による和太鼓演奏

11月29日(金)10:30～11:30(開場10:15)

劇団風の子による「ソノヒカギリ美術館」演劇

当日、上履きをご持参の上、お越しください。



5 活動事例（活動のために準備した素材や道具、環境の設定、子供の姿、振り返り）

事例１： 「音からアート」

日時 令和6年11月14日（木） 9：20～9：50

対象 5歳児 （一斉活動）

<環境をデザインする>



紙、セロハンなど、幼児が自由に破いたり、丸めたりできる素材、を準備し、自分が行った作業によって出てくる音に気づき、言葉に表したり、作品にその過程で出てきたもので作品を作る（ビニール袋）。

<探究活動を実践する> ※ビデオあり



いろいろな大きさの紙で音がでることを試した。

ちぎる速さを変えて、いろいろな音が出ることを試した。

<振り返りを踏まえた気づき>

先生A 紙の大きさにより、音が異なることに気づき探究をしていた。

先生B ちぎる速さが違うと、出る音が違うことに気づき探究をしていた。

先生C 素材の大きさによる違い、自分自身が素材への操作方法を変えると音も変化することに気づき、これらの条件を変化させ、その結果の違いに気づくことを繰り返し、探索をしていた。

事例2： 「SDGs フェスティバル」～もったいない！身近な素材で、手作り楽器を作ろう～

日時 令和6年10月～ 11月22日（木）

対象 5歳児 （一斉活動）

<環境をデザインする>



5歳児は、空き箱、セロハン、ドングリ、ビーズ、皿、紙コップ、ビニールテープ、風船、割り箸、アルミホイル等、幼児がいろいろな音を試して、自分が考えた太鼓を作ることができるように素材を準備した。

4歳児は、遠足や散歩で拾ったドングリ、空き容器を準備し、マラカスを作るように準備した。

<探究活動を実践する>



5歳児は、いろいろな素材にふれ、自分が気に入った音の素材を選び、自分の太鼓を作った。

4歳児は、できあがったマラカスを頭の上で「シャララ」といって鳴らす、耳の横、床に転がすなどいろいろな鳴らし方を試していた。

<振り返りを踏まえた気づき>

先生A ♪SDGs オリジナルソング、♪幸せなら手をたたこうなどに合わせて鳴らしていたら、坂を転がしても鳴ることを発見した。

先生B 自分で気に入った素材を探すために何度も試していた。

先生C 手作り楽器を作る過程で、自分が作りたいことを実現するために、素材選びの探索行動が始まり、手作り楽器ができあがると、自分で自身の身体の動きの調整で音を変化させたり、傾斜があるところで転がすと自然になることに気づいたりする。

事例３： 「和太鼓演奏鑑賞」

日時 令和6年11月28日（木）10:00～11:00

対象 全在園児 近隣保育園2園、保護者、未就園児

<環境をデザインする>



演奏者による和太鼓、平太鼓、しめ太鼓の演奏を聴く。

<探究活動を実践する>

太鼓の音が響くと「心臓が痛い!」「大きな音」「すごい」と感じたことを言葉に表していた。たたくまね、踊る、手拍子など、感じたまま身体を動かしている。自分たちもたたいてみたいと、話してきた。

<振り返りを踏まえた気づき>

先生A 自分の動きを出してのびのび表現している。

先生B 日頃、聞いたことがない太鼓の音に、驚いたり、感じたりして、心が動かされ、自分たちも、太鼓をたたいてみたいと興味が広がった。次回は、保育園の友達と一緒にみんなで鳴らす経験をする（令和7年1月9日予定）。

事例4： 「いろいろな音を出してみよう、聞いてみよう」（楽器遊び、素材と触れ合う）

日時 令和6年12月6日（金）～

対象 全参加者による自由な形態 及び 5歳児（一斉活動）

<環境をデザインする>



空き箱、空き缶、サランラップの芯、ペットボトルの蓋、輪ゴム、プラスチックのカップ、金属のスプーン・フォークなど身近な素材とさまざまな楽器で、いろいろな音を出せるように（たたく、握る、振る、はじくなど）準備した。

<探究活動を実践する>



空き缶、空き箱をたたくとき、強さや速さを変えていた。

しばらくすると、箱の向きを変えたり、他の素材と組み合わせたりして音を出すことを繰り返し試していた。

<振り返りを踏まえた気づき>

先生A 箱を裏返したり、向きを変えたりして試していた。

先生B 素材の種類が豊富にあることで、いろいろな音を組み合わせで鳴らすことを楽しみ、音の違いなど探究していた。